



鶴見区在宅医療連携拠点

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点

謹賀新年号



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、今まで展開してきた活動を丁寧に振り返りつつ事業に取り組み、皆様が住み慣れた鶴見区で安心して過ごしていただけたように、医療と介護の連携構築を推進してまいりました。その結果、顔の見える連携から、困難を乗り越えて在宅支援をできた事例の報告など、地域力の高まりを実感できました。

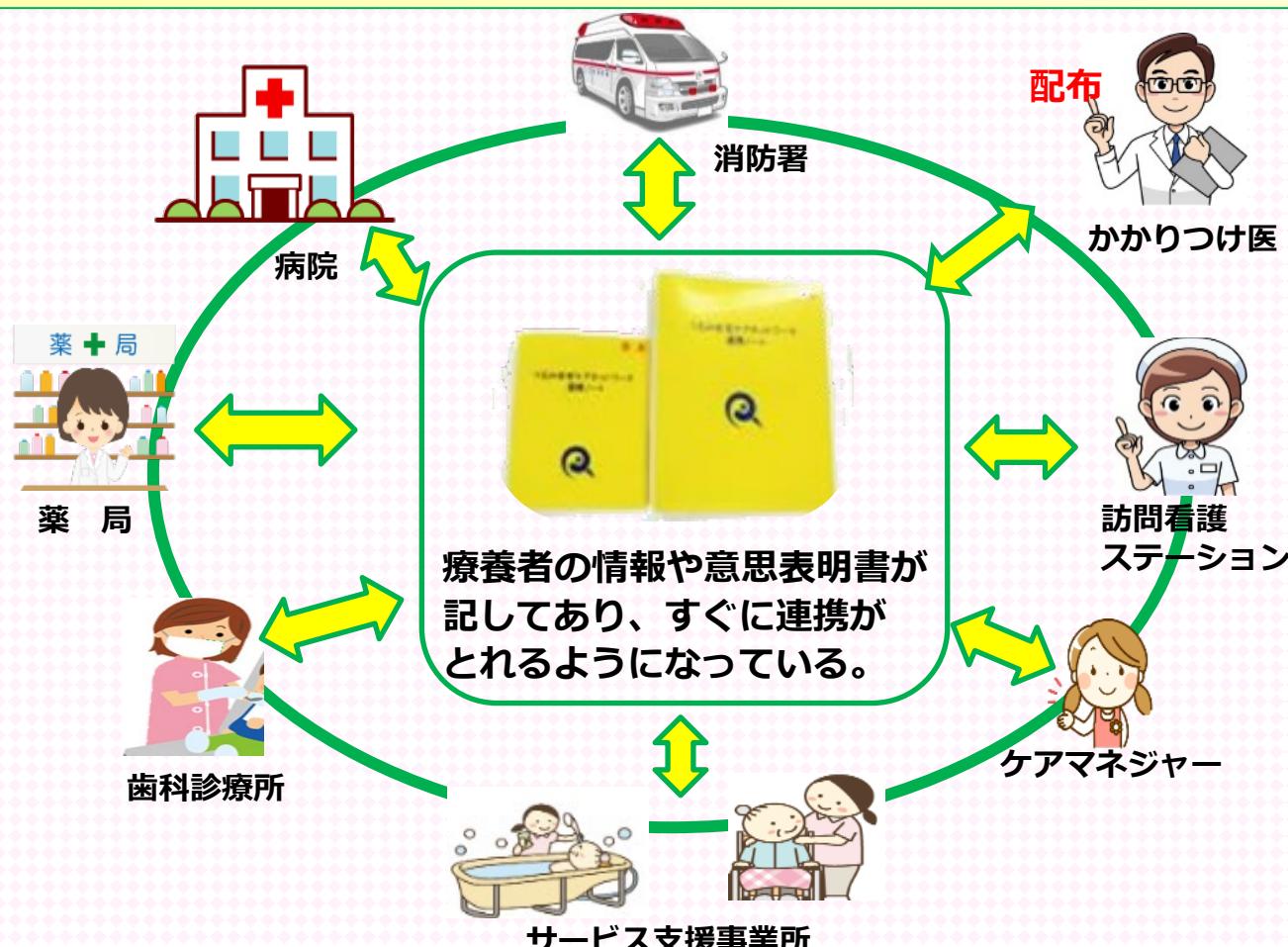
今年は「丙午」の年、情熱やエネルギー、大きな飛躍を象徴する年とされています。皆さまのあゆみが力強く、実り多き一年になりますように、スタッフ一同お祈りしています。

管理者 鈴木 志律江

※将来の医療及びケアについて、本人を主体にそのご家族や近しい人とあらかじめ話合っておく事が大切です。昨年のつるみ在宅ケアネットワーク公開勉強会では、つるみ在宅ケアネットワーク連携ノート・わになるノートの展示とともに手帳と救急安心カードの配布をしました。

= 鶴見区在宅医療連携拠点で取り組んでいる「連携ノート」をご紹介いたします！ =

つるみ在宅ケアネットワーク連携ノート（通称：イエローノート）…イメージ図…



鶴見区在住の療養者が、緊急時、災害時に安心して医療が受けられ、早期に在宅療養に戻ることができるために、主治医が無料で配布しているノート

下記シールを玄関の内側に貼っておき、救急搬送や災害時に持参して活用しています。



設置場所を記入
例：電話の横



こちらのQRコードからホームページが開けます。

(一社)鶴見区医師会在宅部門
鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」
〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F
電話：045-503-1289 FAX：045-503-1266
横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点
電話：070-2628-1077 FAX：045-716-8606

～ 2025年度の市民向け事業紹介 ～

【第21回 つるみ在宅ケアネットワーク公開勉強会】 鶴見公会堂にて集会型

人生はのぼい坂 ↗くだり坂 〽まさか… 参加者総数 273名

～ そんな時にかかりつけ医 ～

総合司会:きむら記念クリニック 院長
河合 裕子さん



【かかりつけ医について】

渡辺 医院 院長 渡辺 雄幸さん



挨拶:鶴見区医師会理事長代理
恵愛内科クリニック 院長
佐藤 剛さん



挨拶:鶴見区健康福祉保健センター長
岩田 慶隆さん



支え合う遺族の会
「ハナミスキの会」

イエローノート

医師歯科医師会館を借りて活動継続。

12月は「クリスマス会」

ゲーム・クリスマスカード作成・歌で和やかに



令和7年11月末まで

A5 859冊

A4 4583冊

配布しています



2025年度 鶴見区在宅医療連携拠点「さわやか相談室」相談実績 (11月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
相談数	35+1	32	26	30	24+1	35	28+3	24	234+5
東部病院 対面相談	21+1	18	13	25	15+1	17	19+3	18	146+5

冷静な情熱で
挑戦のチャンスをつかんで
飛躍できる年に！！



本年もよろしくお願いします